

警防編



警 防 編

第 49 回栃木県消防救助技術大会（引揚救助）



第 49 回栃木県消防救助技術大会（基本泳法）

■ 本部・署別車両配置状況

(令和7年4月1日現在)

所 属 \ 車両種別		消 防 ボ ン プ 自 動 車	水 槽 付 消 防 ボ ン プ 自 動 車	は し ご 付 消 防 自 動 車	化 学 消 防 ボ ン プ 自 動 車	救 助 工 作 車	小 型 動 力 ボ ン プ 付 水 槽 車	資 機 材 搬 送 車	高 規 格 救 急 車	非 常 用 高 規 格 救 急 車	消 防 活 動 二 輪 車	指 揮 車	指 令 車	広 報 車	査 察 車	総 務 公 用 車	排 水 ボ ン プ 車	支 援 車 (マイクローバス)	災 害 後 方 支 援 車	計
消 防 本 部												1	1	2	3				1	8
消 防 署	消 防 署	1	2	1		1	1	2	2	2	2	1		1			2	1		19
	大 谷 分 署		1		1				1					1						4
	間々田分署		1		1				1					1						4
	野 木 分 署	1	1						1					1						4
	豊 田 分 署	1	1						1					1						4
	桑 分 署	1	1						1					1						4
	絹 分 遣 所		1						1					1						3
計		4	8	1	2	1	1	2	8	2	2	1	1	8	2	3	2	1	1	50

■ 消火薬剤備蓄状況

(令和7年4月1日現在)

所 属 \ 薬剤名		消 火 薬 剤					(単位=ℓ)
		三愛スーパー フォーム	ニッタン ジェットフォーム	フォスチェック	ミラクルフォームα	マルチA	合 計
消 防 署		1,600		550	120	480	2,750
大 谷 分 署		960					960
間々田分署		1,200		190		40	1,430
野 木 分 署			920		200		1,120
豊 田 分 署			580				580
桑 分 署			560				560
絹 分 遣 所		80			100		180
計		3,840	2,060	740	420	520	7,580

■ 消防水利の状況

(令和7年4月1日現在)

管 轄 区分		消防署	大 谷	間々田	豊 田	桑	絹	小山市	野木町	消防本部 計
消火栓	単 式	634	509	507	111	434	22	2,217	617	2,834
	複 式	50	10	27		17		104	10	114
	計	684	519	534	111	451	22	2,321	627	2,948
防火 水槽	40m ³ 未満	38	48	97	83	36	36	338	171	509
	40m ³ 以上	80	94	76	44	48	29	371	53	424
	(うち耐震性)	45	77	56	35	29	17	259	39	298
	計	118	142	173	127	84	65	709	224	933
	(うち耐震性)	45	77	56	35	29	17	259	39	298
指定 消防水利	防火水槽	6	14	9	12	13	2	56	11	67
	(うち耐震性)	6	14	9	12	13	2	56	11	67
	消火栓									
	プール	9	6	8	6	2	2	33	7	40
	計	15	20	17	18	15	4	89	18	107
防火井戸	計			19	14			33		33
計		817	681	743	270	550	91	3,152	869	4,021

消防車両一覧表

(令和7年4月1日現在)

所属	車 両 種 別	車両メーカー	装 備	型 式	登 録 年 月
消防本部	指 令 車	日 産			H10年 8月
	総 務 公 用 車	日 産			H11年 9月
	総 務 公 用 車	日 産			R7年 1月
	総 務 公 用 車	三 菱		EV	R6年 12月
	査 察 車 (予 防)	三 菱			H27年 12月
	査 察 車 (保 安)	トヨタ			H15年 11月
	防 災 広 報 車	日 産			H26年 2月
	災 害 後 方 支 援 車	三 菱		PHEV	R6年 3月
消防署	指 揮 車	トヨタ			H18年 2月
	広 報 車	日 産			H12年 10月
	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	積載水2,000ℓ・CAFS装置	Ⅱ型	R5年 2月
	水槽付消防ポンプ自動車	いすゞ	積載水2,000ℓ・高圧噴霧装置	Ⅱ型	H16年 1月
	小型動力ポンプ付水槽車	日 野	積載水10,000ℓ		R4年 2月
	は し ご 付 消 防 自 動 車	日 野	四輪操舵・先端屈折	35m級	R6年 2月
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	三 菱		CD-Ⅰ型	H10年 12月
	救 助 工 作 車	日 野	救助資機材一式	Ⅱ型	R7年 3月
	高 規 格 救 急 車	トヨタ	高度救急資機材一式	高規格	R2年 10月
	高 規 格 救 急 車	トヨタ	高度救急資機材一式	高規格	H26年 11月
	非 常 用 高 規 格 救 急 車	トヨタ	高度救急資機材一式	高規格	H21年 11月
	非 常 用 高 規 格 救 急 車	トヨタ	高度救急資機材一式	高規格	H26年 11月
	資 機 材 搬 送 車	日 産	クレーン装置付		H13年 1月
	資 機 材 搬 送 車	日 野	テールゲートリフター付		R2年 12月
	支 援 車 (マイクロバス)	トヨタ	テールゲートリフター付	Ⅲ型	R6年 2月
	消 防 活 動 二 輪 車	ヤマハ	噴霧消火装置		H25年 9月
	消 防 活 動 二 輪 車	ヤマハ	救急資機材一式・油圧カッター		H25年 9月
	排 水 ポ ン プ 車	日 野	排水装置(水中モーターポンプ4台)	30m ³ /min級	R2年 6月
	排 水 ポ ン プ 車	日 野	排水装置(水中モーターポンプ4台)	30m ³ /min級	R2年 6月
大谷分署	水槽付消防ポンプ自動車	いすゞ	積載水2,000ℓ・ウインチ装置	Ⅱ型	H15年 1月
	化学消防ポンプ自動車	日 野	積載水1,500ℓ・薬剤300ℓ	Ⅰ型	H24年 2月
	高 規 格 救 急 車	トヨタ	高度救急資機材一式	高規格	R 1 年 10月
	広 報 車	日 産			R6年 4月
間々田分署	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	積載水5,000ℓ・自動泡混合装置	Ⅱ型	R6年 3月
	化学消防ポンプ自動車	日 野	積載水1,500ℓ・薬剤300ℓ	Ⅰ型	H20年 2月
	高 規 格 救 急 車	トヨタ	高度救急資機材一式	高規格	H27年 10月
	広 報 車	日 産			R6年 4月
野木分署	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	積載水2,000ℓ・CAFS装置	Ⅱ型	H28年 2月
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	いすゞ	積載水900ℓ	CD-Ⅰ型	H14年 12月
	高 規 格 救 急 車	トヨタ	高度救急資機材一式	高規格	R6年 10月
	広 報 車	ホンダ			H25年 11月
豊田分署	水槽付消防ポンプ自動車	いすゞ	積載水2,000ℓ・高圧噴霧装置	Ⅱ型	H17年 3月
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	三 菱	積載水900ℓ	CD-Ⅰ型	H12年 12月
	高 規 格 救 急 車	トヨタ	高度救急資機材一式	高規格	H30年 9月
	広 報 車	日産			R5年 5月
桑分署	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	積載水2,000ℓ・高圧噴霧装置	Ⅱ型	H19年 1月
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	三 菱	積載水900ℓ	CD-Ⅰ型	H11年 8月
	高 規 格 救 急 車	トヨタ	高度救急資機材一式	高規格	R6年 10月
	広 報 車	日産			H30年 11月
絹分遣所	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	積載水2,000ℓ・CAFS装置	Ⅱ型	H28年 2月
	高 規 格 救 急 車	トヨタ	高度救急資機材一式	高規格	H28年 2月
	広 報 車	スズキ			H10年 8月

■ 消防用器具の保有状況

● 放水器具

(令和7年4月1日現在)

資 機 材 名	管 理 所 属	消防署	分 署					絹分遣所	計
			大 谷	間々田	野 木	豊 田	桑		
消 防 用 ホ ー ス (φ 6 5 m m)		200	60	60	60	60	60	30	530
消 防 用 ホ ー ス (φ 5 0 m m)		170	35	35	35	35	35	20	365
放 水 銃		5	1	1					7
無 反 動 管 そ う (5 0 ・ 6 5 m m)		20	10	8	10	10	10	2	70
特 殊 ノ ズ ル		17	6	8	6	3	3	5	43
ピ ッ ク ア ッ プ ノ ズ ル		2	2	1	2	2	1		10
東 消 式 簡 易 発 泡 器		2	1	1	1	1	1		7
ラ イ ン プ ロ ボ ー シ ョ ナ ー		1	2	1	1	1	1	1	8
水 の う 付 手 動 ポ ン プ		5	6	2	4	5	4	4	30
水 の う 付 手 動 ポ ン プ 給 水 器		2	1	2	1	1	1	1	9
二 又 分 岐		12	4	5	4	4	4	2	35
イ ン パ ル ス 発 射 銃		1	1		1				3
高 圧 噴 霧 消 火 装 置		1	1	1		1	1		5
泡 プ ロ パ ッ ク		1	1	1					3

● 救助器具

(令和7年4月1日現在)

資 機 材 名	管 理 所 属	消防署	分 署					絹分遣所	計
			大 谷	間々田	野 木	豊 田	桑		
か ぎ 付 き は し ご		4	2	2	1	1	1	1	12
二 連 は し ご		1			1	1	1		4
三 連 は し ご		7	2	2	1	1	1	1	15
金 属 ワ イ ヤ ー は し ご		2							2
緩 降 機		2							2
ロ ー プ 登 降 器		8							8
救 命 索 発 射 装 置		2							2
救 助 用 縛 帯		9	1	1	1	1	1	1	15
墜 落 制 止 用 器 具		25	2	2	2	2	3	2	38
救 助 用 担 架 (船 型 ・ 平 型)		5	1	1					7
サ バ イ バ ー ス リ ン グ		4							4
フ ァ イ バ ー ス コ ー プ		3							3
熱 画 像 直 視 装 置		5	1	1	1	1	1	1	11
画 像 探 索 機 I 型		1							1
画 像 探 索 機 II 型		1							1
地 中 音 響 探 知 機		1							1
救 助 用 工 具 セ ッ ト		5	1	2	1	1	1	1	12
空 気 式 救 助 マ ッ ト		2							2
防 災 ド ロ ー ン		3							3

● 重量物排除器具

(令和7年4月1日現在)

資 機 材 名	管 理 所 属	消防署	分 署					絹分遣所	計
			大 谷	間々田	野 木	豊 田	桑		
チェーンブロック		1							1
救助用支柱器具		1							1
マンホール救助器具		2							2
救助用三脚		1							1
油圧ジャッキ		2							2
油圧スプレッダー		1							1
可搬式ウインチ		4			1				5
ワイヤー（ベルト含）		49	7	2	3	5	3		69
マット型空気ジャッキ		2							2
油圧コンピツール		3	1	1	1	1	1	1	9
電動スプレッダー									0
電動ジャッキ									0

● 切断器具

(令和7年4月1日現在)

資 機 材 名	管 理 所 属	消防署	分 署					絹分遣所	計
			大 谷	間々田	野 木	豊 田	桑		
大型油圧切断機		1							1
油圧切断機		2							2
エンジンカッター		5	1	2	1	1	1	1	12
ガス溶断器		2							2
エッジチェーンソー		1							1
チェーンソー		4	1	2	1	1	1	1	11
鉄線カッター		10	2	8	2	1	1	1	25
空気鋸		2		1					3
ガラスカッター（消防用）		4	2	2	1	1	1	1	12
シートベルトカッター（消防用）		4							4
電動切断機		6				1			4

● 破壊器具

(令和7年4月1日現在)

資 機 材 名	管 理 所 属	消防署	分 署					絹分遣所	計
			大 谷	間々田	野 木	豊 田	桑		
万 能 斧 (消 防 用)		17	5	4	2	4	5	2	39
大 ハ ン マ ー		4	2	1	1	1	1	1	11
削 岩 機		2							2
ハ ン マ ー ド リ ル		2							2
携 帯 用 コ ン ク リ ー ト 破 壊 器 具		2							1
充 電 式 ハ ン マ ー ド リ ル ー 式		2							1
充 電 式 レ シ プ ロ ソ ー ー 式		3	1	1	1	1	1	1	9

● 検知・測定器具

(令和7年4月1日現在)

資 機 材 名	管 理 所 属	消防署	分 署					絹分遣所	計
			大 谷	間々田	野 木	豊 田	桑		
複 合 型 ガ ス 測 定 器		6	1	1	1	1	1	1	12
有 毒 ガ ス 検 知 管		1	1	1	1	1	1	1	7
表 面 温 度 計		2	1	1	1	1	1		7
漏 電 計		1							1
夜 間 用 暗 視 装 置		1							1
カ メ ラ		7	1	2	2	2	1	1	16
レ ー ザ ー 距 離 計		2	1	1	1	1	1	1	8
張 力 計		3							3
検 電 チ ェ ッ カ ー		4	1	1	1	1	1	1	10

● 保護器具

(令和7年4月1日現在)

資 機 材 名	管 理 所 属	消防署	分 署					絹分遣所	計
			大 谷	間々田	野 木	豊 田	桑		
空 気 呼 吸 器		49	10	9	9	9	9	5	100
空 気 ボ ン ベ (5 ℓ)		81	20	18	18	18	18	10	183
空 気 ボ ン ベ (9 ℓ)		7							7
酸 素 呼 吸 器		4							4
酸 素 ボ ン ベ (1.5 ℓ)		8							8
防 毒 マ ス ク		10							10
防 塵 マ ス ク (消 防 隊 用)		35	9	10	10	10	10		84
防 塵 メ ガ ネ		44	22	13	15	19	7		120
耐 熱 服		3	3	3					9
耐 電 手 袋		6	2	2	3	2	2	3	20
耐 電 長 靴		6							6
耐 電 ズ ボ ン		6							6
個 人 携 帯 警 報 器		10	4	4	4	4	4	4	34

● 特殊災害用対策器具

(令和7年4月1日現在)

資 機 材 名	管 理 所 属	消防署	分 署					絹分遣所	計
			大 谷	間々田	野 木	豊 田	桑		
ポ ー タ バ リ ケ ー ド		5							5
汚 染 水 貯 留 パ ネ ル 水 槽		2							2
除 染 用 給 湯 器		1							1
伸 縮 式 カ ラ ー コ ー ン		19	8						27
背 負 畜 圧 式 噴 霧 機		3							3
低水位排水用水中ハイスピンポンプ		1							1
ラ ン コ 除 染 用 テ ン ト		2							2
化 学 防 護 衣		54	5	5	5	5	5	3	82
放 射 線 測 定 器 (中 性 子 用)		2							2
放 射 線 測 定 器 (中 性 子 用 以 外)		19							19
放 射 線 測 定 器 (携 帯 用)		41							41

● 水難救助用器具

(令和7年4月1日現在)

資 機 材 名	管 理 所 属	消防署	分 署					絹分遣所	計
			大 谷	間々田	野 木	豊 田	桑		
潜 水 器 具		20							20
空 気 ボ ン ベ (12 ℓ)		22							22
水 中 投 光 器		5							5
救 命 浮 環		2	1	1			1	1	5
灯 浮 標		1							1
船 外 機		3		1		2		1	7
水 難 国 際 信 号 旗 (A 旗)		1							1
水 難 救 助 用 担 架		1							1
レ ス キ ュ ー チ ュ ー ブ		1							1

● その他の器具

(令和7年4月1日現在)

資 機 材 名	管 理 所 属	消防署	分 署					絹分遣所	計
			大 谷	間々田	野 木	豊 田	桑		
浄 水 器		1							1
投 光 器 一 式		9	2	3	2	2	2	1	21
発 電 機		15	4	2	2	2	3	1	29
エ ア ー テ ン ト		3							3
ワ ン タ ッ チ テ ン ト		2							2
幕 舎 テ ン ト		8							8
安 全 マ ッ ト		5			2	1			8
現 場 調 査 用 具		1	1	1	1	1	1	1	7
現 場 調 査 用 投 光 器		1	1		1	1	1		5
オ イ ル フ ェ ン ス		10							10
給 水 用 水 槽 1 0 0 0 ℓ		2							2
給 水 用 水 槽 2 0 0 0 ℓ									0
給 水 用 水 槽 2 5 0 0 ℓ		6	3	3	2	3	3	1	21
石 油 暖 房 機		4							4
ス ポ ッ ト ク ー ラ ー		1							1
加 圧 排 煙 機 (可 搬 型 ブ ロ ア ー)		4							4
フ ォ ー ク リ フ ト		1							1

● 救命ボート及び救命胴衣

(令和7年4月1日現在)

資 機 材 名 配置場所		救 命 ボ ー ト					救 命 胴 衣 (固 定 式)				
		空 気 膨 張 式			ウレタン製	和 船	合 計	流 水 救 助 用 救 命 胴 衣	小 型 船 舶 用 救 命 胴 衣	作 業 用 救 命 胴 衣	合 計
		ゴムボート (船外機用)	ラフトボート	ローボート	水害救助支援ボート						
署管内	消 防 署 (神 鳥 谷)	1	2	1	1		5	21	19	95	135
	1 - 2 分 団 車 庫 (城 北)			1			1			4	4
	2 - 1 分 団 車 庫 (中 央 町)			1			1			4	4
	2 - 2 分 団 車 庫 (中 央 町)			1			1			4	4
大谷管内	大 谷 分 署 (犬 塚)								4	17	21
	6 分 団 車 庫 (横 倉 新 田)			1			1			4	4
間々田管内	間 々 田 分 署 (乙 女)								9	12	21
	中 里 水 防 倉 庫			1			1			4	4
	檜 木 水 防 倉 庫	1					1			5	5
	下 生 井 水 防 倉 庫					1	1			4	4
	10 - 2 分 団 車 庫 (乙 女)			1			1			4	4
	10 - 3 分 団 車 庫 (乙 女)			1			1			4	4
	15 - 2 分 団 車 庫 (寒 川)			1			1			4	4
	16 - 1 分 団 車 庫 (網 戸)			1			1			4	4
	16 - 2 分 団 車 庫 (下 生 井)			1			1			4	4
	押 切 集 会 所					1	1			4	4
豊田管内	豊 田 分 署 (立 木)	1					1		4	20	24
	大 行 寺 水 防 倉 庫	1					1			5	5
	11 - 2 分 団 車 庫 (小 宅)			1			1			4	4
	11 - 3 分 団 車 庫 (島 田)			1			1			4	4
	12 - 2 分 団 車 庫 (立 木)			1			1			4	4
	13 - 1 分 団 車 庫 (大 行 寺)			1			1			4	4
	13 - 2 分 団 車 庫 (萩 島)			1			1			4	4
	13 - 3 分 団 車 庫 (間 中)			1			1			4	4
	14 - 1 分 団 車 庫 (南 小 林)			1			1			4	4
	14 - 2 分 団 車 庫 (下 泉)			1			1			4	4
	14 - 3 分 団 車 庫 (下 初 田)			1			1			4	4
	白 鷗 大 学 駐 車 場 (大 行 寺)					1	1			4	4
桑管内	桑 分 署 (羽 川)								6	13	19
	17 - 3 分 団 車 庫 (飯 塚)			1			1			4	4
絹管内	絹 分 遣 所 (福 良)			1			1			13	13
	18 - 1 分 団 車 庫 (延 島)			1			1			4	4
	18 - 3 分 団 車 庫 (福 良)			1			1			4	4
	延 島 水 防 倉 庫					1	1			4	4
合 計		4	2	24	1	4	35	21	42	284	347

※野木分署を除く

■ 水防資器材の保有状況

(令和7年4月1日現在)

管轄 水防倉庫等 資器材名	消 防 署		大谷	間 々 田					豊 田				桑		絹		合 計
	消 防 署	中 央 町	分 署	分 署	中 里	生 良	櫛 木	下 生 井	分 署	大 行 寺	石 の 上	島 田	分 署	飯 塚	分 遣 所	延 島	
土のう袋	3,000	2,000	1,000	1,000	500	600	600	600	600	5,600	500		1,000	500	220	500	18,220
土のう袋 (容量1t)	70				250	10	260	260			20	270		250	150		1,540
ビニールシート	160	67	75	89	81	85	85	85	88	62	84		92	97	98	85	1,333
むしろ張り用シート	480			5					4	21			6				516
松杭	12		11	14	70	100	38	50		90	74			65		74	598
鉄杭	390	500	300	100	100	100	100	250	100	700			233		98	200	3,171
鉄線	270	100	50	50	52	50	50	50	50	50	50		65	50	50	50	1,037
縄(kg)	35	16	52	52	16	14	14	17	0	0	0		50	0	13	36	315
ナイロンロープ(m)	1,000		1,300	1,400					1,000	400	400		1,400	400	1,450		8,750
シャベル	35	20	20	20	11	7	7	7	20	7	7	5	20	12	20	12	230
エンピ	4	10	10	9	1	5	5	5	10	5	5	5	10		5		89
角スコップ	8	5	6	9					8				5		5		46
なた	25	10	8	10	3	3	3	3	10	3	3		10	3	6	3	103
斧	5		3	4					3				4		2		21
鎌	90	5	16	31	22	5	5	5	20	5	5		32	5	10	5	261
竹とげ鎌	5																5
つるはし	6	5	5	5	4	4	4	4	5	4	4		6	4	5	4	69
大ハンマー	5	2	2	1					1	1			2		1		15
かけや	15	8	7	7	4	4	4	4	7	5	4		7	5	7	4	92
のこぎり	30	5	12	11	5	5	5	5	21	5	5		21	5	10	5	150
ペンチ	15	4	6	5	4	4	4	4	5	4	4		5	4	6	4	78
鉄線切	5	2	2	6					5				5		1		26
パール	4		3	4					5				3		1		20
一輪車	10		3	3					3				3		2		24
吸水土のう	530		200	200					200				200		200		1,530
とい	6																6
チェーンソー	2																2
フルコンモッコ									4								4
連結すいのう	8																8
スローバック							3			3						3	9
フローティングロープ							1			1						1	3

※野木分署を除く

■ 救急用器具の保有状況

● 高度救命処置用資器材

(令和7年4月1日現在)

資器材名 管 理 所 属	消防署	分 署					絹分遣所	計
		大 谷	間々田	野 木	豊 田	桑		
自 動 体 外 式 除 細 動 器	12	3	3	3	3	3	3	30
生 体 情 報 モ ニ タ ー	3	1	1	0	1	0	1	7

● 一般救急用資器材

(令和7年4月1日現在)

資器材名 管 理 所 属	消防署	分 署					絹分遣所	計
		大 谷	間々田	野 木	豊 田	桑		
自 動 心 臓 マ ッ サ ー ジ 器	2			1		1		4
手 動 式 吸 引 器	2	1	1	1	1	1		7
電 動 式 吸 引 器	4	1	1	1	1	1	1	10
自 動 式 人 工 呼 吸 器	4	1	1	1	1	1	1	10
酸 素 吸 入 装 置	7	2	2	2	2	2	2	19
陰 圧 式 固 定 ギ ブ ス	4	1	1	1	1	1	1	10
パ ル ス オ キ シ メ ー タ ー	4	3	1	1	1	2	2	14
頸 部 固 定 器 具	16	4	4	4	4	4	4	40
バ ッ ク ボ ー ド	4	1	1	1	1	1	1	10
シ ョ ー ト ボ ー ド	1	1	1			1		4
タ ー ニ ケ ッ ト	13	2	2	2	2	2	2	23
陰圧式搬送具（アイソレーター）	1							1

● 救急搬送用資器材

(令和7年4月1日現在)

資器材名 管 理 所 属	消防署	分 署					絹分遣所	計
		大 谷	間々田	野 木	豊 田	桑		
メ イ ン ス ト レ ッ チ ャ ー	4	1	1		1		1	7
電 動 ス ト レ ッ チ ャ ー				1		1		2
ス ク ー プ ス ト レ ッ チ ャ ー	6	1	1	1	1	1	1	12
布 担 架	7	2	2	2	2	2	2	19

● 救出用資器材

(令和7年4月1日現在)

資器材名 管 理 所 属	消防署	分 署					絹分遣所	計
		大 谷	間々田	野 木	豊 田	桑		
金 て こ (バ ー ル)	4	1	1	1	1	1	1	10
万 能 斧 (救 急 用)	4	1	1	1	1	1	1	10
ガラスカッター (救急用)	4	1	1	1	1	1	1	10
シートベルトカッター (救急用)	4	1	1	1	1	1	1	10
救 命 浮 環	4	1	1	1	1	1	1	10
防 毒 マ ス ク	4	3	3	3	3	3	3	22

● 救急滅菌器具

(令和7年4月1日現在)

資器材名 管 理 所 属	消防署	分 署					絹分遣所	計
		大 谷	間々田	野 木	豊 田	桑		
高 圧 蒸 気 滅 菌 器								0
紫 外 線 滅 菌 器 ロ ッ カ ー	1	1	1	1	1	1	1	7
消 毒 室	1	1	1				1	4
オゾン発生機器 (BT - 03)	4	1	1	1	1	1	1	10
オゾン発生機器 (BT - 088)	1	1	1	1	1	1	1	7

● 救急教育・広報用資器材

(令和7年4月1日現在)

資器材名 管 理 所 属	消防署	分 署					絹分遣所	計
		大 谷	間々田	野 木	豊 田	桑		
教 育 用 人 形	38	8	8	8	12	8	5	87

● 救急通信用資器材

(令和7年4月1日現在)

資器材名 管 理 所 属	消防署	分 署					絹分遣所	計
		大 谷	間々田	野 木	豊 田	桑		
スマートフォン (救急用)	3	1	1	1	1	1	1	9
タブレット (救急用)	2	1	1	1	1	1	1	8

● 感染防護キット

(令和7年4月1日現在)

資器材名 管 理 所 属	消防署	分 署					絹分遣所	計
		大 谷	間々田	野 木	豊 田	桑		
感染防止衣・N95マスク・グローブ・ゴーグル・シューズカバー	123	70	60	47	60	60	30	450

■ 消防活動施設及び消防水利施設に関する協議

消防活動施設に関する協議とは、小山市中高層建築物指導要綱（平成 3 年規程第 24 号）に基づき、中高層建築物の建築計画をする際、はしご付消防自動車などの大型消防自動車、有事の際円滑な活動ができるように、消防本部と建築主が協議するよう定められています。

消防水利施設に関する協議とは、小山市宅地開発指導要綱（平成 17 年規程第 26 号）に基づき、消火活動をするために必要な消防水利施設の整備を目的とし、防火水槽又は消火栓の消防水利施設の計画について、消防本部と事業者が協議するよう定められています。

■ 消防水利施設に関する協議、消防活動施設に関する協議件数及び消防水利数

協議名 年度		消防水利施設に 関する協議	消防活動施設に 関する協議
令和 6 年度	小山	25	
	野木		
	合計	25	
令和 5 年度	小山	46	
	野木	3	1
	合計	49	1
令和 4 年度	小山	27	2
	野木	1	1
	合計	28	3
令和 3 年度	小山	38	2
	野木	1	
	合計	39	2
令和 2 年度	小山	20	2
	野木	1	
	合計	21	2

種別 年度		防火水槽	消火栓
令和 6 年度	小山	1	2
	野木		
	合計	1	2
令和 5 年度	小山	2	8
	野木		
	合計	2	8
令和 4 年度	小山	9	4
	野木		
	合計	9	4
令和 3 年度	小山	7	7
	野木		
	合計	7	7
令和 2 年度	小山	8	3
	野木		
	合計	8	3

◇小山市消防本部・消防署の活動◇

1 消防本部・1 消防署・5 分署（野木町を含む）・1 分遣所が火災の予防、警戒、鎮圧をはじめ、交通事故等による救急救助業務、地震や風水害防除活動など、市町民生活の安全を災害等から守るために幅広く消防防災活動を行っています。

なお、野木町については、上記のことを達成するために昭和60年4月から小山市に消防事務（消防団及び消防水利の設置・維持・管理を除く）を委託して、消防防災活動を行っています。

また、小山市消防本部の管轄外で大規模な災害が発生した場合、国、県からの指示や求めに応じ、栃木県広域消防応援隊及び緊急消防援助隊として災害の発生した市町村や都道府県に出動し、応援の消火、救急、救助等の活動を行います。

■ 火災、救助及びその他の出動状況

(令和6年中)

種別 \ 月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	
火災	建物	2	5	6	7	5	8	1	2	2	2	5	3	48	
	林野	2	1											3	
	車両	1						2		2		1		6	
	その他	5	6	3	4	1	2		1	1		1	2	26	
	計	10	12	9	11	6	10	3	3	5	2	7	5	83	
その他	自然災害				1		1		1	3	1			7	
	危険排除		2	5	6	4	3	4	2	6	5	4	3	4	48
	警戒	毒劇物													
		ガス漏れ							1						1
		気象 火災警報													
		気象 風水害								1					1
		地震													
	緊急確認	怪煙	2				1		1		4	1		1	10
		自火報							1	4		1	1	4	11
		異臭							1						1
	その他	火災非該当	1	2	1	2	2	2	1	2	2	4	2	6	27
		ヘリ警戒	2		4	2	2	1	1		4	2	1		19
		誤認・誤報及びいたずら	10	5	6	10	8	6	11	11	3	6	3	5	84
		その他		1	1	1	2	1		3	1	2	1	2	15
	計		17	13	19	19	19	14	20	30	20	20	11	22	224
救助	火災	建物	1	4	5	4	4	5	1	2	2	2	2	34	
		建物以外	2	2		1		1	2		2		1		11
	交通事故		7	3	9	7	5	1	5	3	2	1	4	3	50
	水難事故				1				1		2				4
	自然災害事故														
	機械による事故			1				1							2
	建物等による事故		4	16	10	4	7	2	4	4	2	9	2	6	70
	ガス及び酸欠事故														
	破裂事故														
	その他の事故		9	8	6	6	2	4	3	8	5	3	3	6	63
	計		23	34	31	22	18	14	16	17	15	15	12	17	234
合計		50	59	59	52	43	38	39	50	40	37	30	44	541	
令和5年		80	60	50	41	29	37	55	53	52	61	39	52	609	
令和4年		34	27	30	19	19	35	52	45	35	38	31	55	420	
令和3年		37	38	20	27	38	16	25	27	17	29	32	26	332	

- 1 火災は実際に火災防ぎょのために消防隊等が出動したものを計上している。
- 2 各年とも1月から12月までの件数を計上している。(応援出動も含む。)
- 3 令和3年以降はPA連携件数を別に計上している。(P86参照)

■ 水防活動状況の推移

(台風及び大雨による消防機関の活動状況)

種 別 \ 年			令和 6 年	令和 5 年	令和 4 年	令和 3 年	令和 2 年	令和 元 年
出動人員車両数	署分署	延 人 員	22	122	98	54		790
		延 車 両	7	44	34	20		253
	分団	延 人 員			201			1,498
		延 車 両			17			209
実施した水防工法(箇所)	積 土 の う		1	1		3		31
	木 流 し							
	表むしろ張り							
	五 徳 ぬ い							
	折 返 し							
	月 の 輪							
	排 水 作 業							
消防機関の活動状況(回数)	広 報 活 動		2		2			7
	河 川 警 戒				1			7
	災 害 調 査	浸 床 上	1					153
		水 床 下	13					193
		全 壊						
		流 出 等						
	障 害 物 除 去			4	1	1		2
	救 助 ・ 救 出							1(31)
	そ の 他			3	2	2		7
死 傷 者	死 者							
	負 傷 者							1

- 1 河川水位調査は、河川警戒に含む。
- 2 その他には、危険箇所調査等を含む。
- 3 救助・救出の()内は人数。
- 4 令和元年以降の消防機関の活動状況について広報活動、河川警戒、障害物除去、救助・救出、その他の回数は、1件の災害につき1として計上する。

■ 緊急消防援助隊

緊急消防援助隊は、平成7年（1995年）1月17日の阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、国内で発生した地震等の大規模災害時における人命救助活動等をより効果的かつ迅速に実施し得るよう、全国の消防機関相互による援助体制を構築するため、全国の消防本部の協力を得て創設されたものであり、小山市消防本部においても、以下のとおり11部隊登録している。

（令和7年4月1日現在）

No.	登録部隊	緊急消防援助隊登録年	登録車両
1	都道府県指揮隊(指1)	平成19年	指揮車（消防署配置）
2	消火小隊(T3)	令和6年	水槽付消防ポンプ自動車(間々田分署配置)
3	// (T7)	平成19年	//（桑分署配置）
4	// (T8)	平成28年	//（絹分遣所配置）
5	// (SF1)	令和5年	//（消防署配置）
6	救助小隊(R1)	令和7年	救助工作車Ⅱ型（消防署配置）
7	救急小隊(A6)	平成31年	高規格救急車（豊田分署配置）
8	// (A7)	令和7年	//（桑分署配置）
9	後方支援小隊(SP1)	令和6年	支援車Ⅲ型（消防署配置）
10	特殊装備小隊(W1)	令和4年	小型動力ポンプ付水槽車（消防署配置）
11	特殊装備小隊(L1)	令和6年	はしご付消防自動車（消防署配置）

※緊急消防援助隊登録年は、消防本部として当該部隊に登録した年を示す。

※登録車両は、令和7年4月1日現在において各部隊に登録している車両を示す。

過去に本市が出動した災害

1 平成16年新潟県中越地震

- (1) 派遣期間 平成16年10月25日から10月28日まで（4日間）
- (2) 派遣人員 救急小隊（A7）後方支援小隊（S1） 延べ2隊6名
- (3) 活動内容 救助及び救急搬送活動

2 平成23年東日本大震災

- (1) 派遣場所、期間
 - ア 岩手県 平成23年3月12日から3月24日まで（13日間）
 - イ 福島県 平成23年3月25日から6月6日まで（74日間）
- (2) 派遣人員
 - ア 岩手県 消火小隊（T7）後方支援小隊（S1） 延べ8隊28名
 - イ 福島県 指揮隊（指1）救急小隊（A2）後方支援小隊（S1） 延べ13隊29名
- (3) 活動内容
 - ア 搜索活動
 - イ 福島第一原子力発電所周囲20～30km圏内の救急搬送活動

3 令和3年静岡県熱海市土石流災害

- (1) 派遣期間 令和3年7月19日から7月25日まで（7日間）
- (2) 派遣人員 消火小隊（車両無） 延べ3隊12名
- (3) 活動内容 搜索活動

4 令和7年岩手県大船渡市山林火災

- (1) 派遣期間 令和7年2月27日から3月10日まで（12日間）
- (2) 派遣人員 消火小隊（SF1）後方支援小隊（SP1） 延べ12隊36名
- (3) 活動内容 消火、中継送水及び警戒活動

主な緊急消防援助隊登録車両

指揮車（指1）



- 1 全長 5,530mm
- 2 全幅 1,880mm
- 3 全高 2,520mm
- 4 重量 2,925kg
- 5 排気量 2,693cc

水槽付消防ポンプ自動車（T3）



- 1 全長 7,210mm
- 2 全幅 2,300mm
- 3 全高 3,260mm
- 4 重量 14,000kg
- 5 排気量 5,120cc
- 6 水槽容量 5,000ℓ

水槽付消防ポンプ自動車（SF1）



- 1 全長 7,250mm
- 2 全幅 2,330mm
- 3 全高 3,100mm
- 4 重量 11,730kg
- 5 排気量 5,120cc
- 6 水槽容量 2,000ℓ

救助工作車Ⅱ型（R1）



- 1 全長 7,800mm
- 2 全幅 2,360mm
- 3 全高 3,180mm
- 4 重量 11,965kg
- 5 排気量 5,120cc

高規格救急車(A7)



- 1 全長 5,660mm
- 2 全幅 1,890mm
- 3 全高 2,530mm
- 4 重量 3,215kg
- 5 排気量 2,690cc

支援車Ⅲ型(SP1)



- 1 全長 4,701mm
- 2 全幅 1,860mm
- 3 全高 1,960mm
- 4 重量 2,345kg
- 5 排気量 2,350cc

小型動力ポンプ付水槽車(W1)



- 1 全長 9,550mm
- 2 全幅 2,480mm
- 3 全高 3,400mm
- 4 重量 19,925kg
- 5 排気量 14,880cc
- 6 水槽容量 10,000ℓ

はしご付消防自動車(L1)



- 1 全長 11,430mm
- 2 全幅 2,490mm
- 3 全高 3,600mm
- 4 重量 20,680kg
- 5 排気量 8,860cc

◇消防の相互応援協定等◇

市及び一消防本部だけでは対処できない大災害が発生した場合等、他の近隣市町や消防機関、ライフライン事業所等と相互に応援し、住民の生命・財産を護るため、あらかじめ協定等を締結しております。

(令和7年4月1日現在)

No.	協 定 種 別	協 定 年 月 日	小山市との協定市町村等	協定概要
1	消防相互応援協定	昭和40年10月21日	栃木市	市境界線に近接した地域で火災が発生、または、協定の区域内で水災、その他の災害が発生した場合の応援について協定する。
2	消防相互応援協定	昭和48年11月1日	筑西広域市町村圏事務組合、結城市、筑西市、桜川市	市境界線で火災又は救急事案が発生した場合の応援について協定する。
3	特殊災害消防対策応援協定	昭和55年4月30日	栃木市消防本部、栃木市	協定市の管内で、危険物施設火災及び中高層建物火災等の特殊災害及び多数の死傷者等が予測される災害が発生した場合の応援を協定する。
4	特殊災害消防応援協定	昭和56年5月20日	栃木県内全消防本部（12消防本部）	協定を結ぶ栃木県内全消防本部の管轄区域内で、高層建築物火災、危険物施設火災、大規模な火災、その他の特殊災害又は多数の死傷者発生が予測される災害が発生した場合の応援について協定する。
5	ガス漏れ事故等防止対策に関する協定	昭和56年7月1日	北日本ガス(株)	小山市内における都市ガスの漏洩及び都市ガスに起因する火災、爆発等の事故（以下「ガス漏れ事故等」という。）が発生した場合の連携協力について協定する。
6	液化石油ガスの災害防止に関する申し合わせ書	昭和57年6月1日	野木町、小山警察署、東京電力、栃木県高圧ガス保安協会小山支部、小山プロパンガス保安センター、小山セントラル石油ガス(株)小山営業所、北日本ガス(株)、(株)トチネン	小山市及び野木町で液化石油ガスの漏えい事故が発生した場合の連携協力について申し合わせる。
7	事業所等の敷地が市町の境界を有する事業所の帰属に関する協定	昭和60年3月29日	石橋地区消防組合消防本部	行政区域境界に係る事業所等の敷地が他消防の管轄区域にまたがる場合における帰属について協定する。
8	消防相互応援協定	昭和60年4月1日	茨城西南地方広域市町村圏事務組合、古河市、下妻市、坂東市、常総市、八千代町、五霞町、境町	協定市町間の隣接した区域で、火災、救急、その他の災害が発生した場合の応援について協定する。
9	テナント入居時に行う防火安全指導に係る相互協力に関する協定	平成29年11月10日	公益社団法人栃木県宅地建物取引業協会県南支部	テナント入居時における防火安全指導に係る相互協力について協定する。

◇小山市消防本部における主な災害等◇

発生年月日	災害種別	発生場所	災 害 概 要
昭和22年9月15日	水 災	生井、寒川他	・カスリン台風に襲われ、夜半からの大雨により渡良瀬川の水位が上昇、左岸堤防が決壊し、生井及び寒川地区一帯が氾濫により甚大な被害発生。
23年3月4日	火 災	小山駅東口	・製粉工場より出火、木造5階建工場1棟全焼。
37年5月13日	火 災	稲葉郷	・製造工場より出火、1棟全焼 488㎡を焼損、損害額 8,000万円。
39年4月5日	火 災	小山駅西口 小山	・店舗等が密集している駅西口付近で発生した火災は、映画館等4棟全焼、計 544㎡を焼損、職員2名殉職、2名負傷、一般人3名負傷、計7名の死傷者が発生した。損害額 2,400万円。
40年5月28日	水 災	生井地区	・与良川堤防13m決壊し、水田 5ha冠水。
42年3月12日	火 災	若木町	・機械製造工場等3棟全焼、計 2,821㎡焼損、損害額 9,600万円。
44年6月15日	火 災	間々田	・商店街より出火、付近の密集建物7棟全半焼、計538㎡焼損、損害額 3,601万円。
45年6月16日	ガス漏洩	千駄塚地内	・国道4号線上で塩素ガスボンベを運搬中、交通事故によりボンベが荷崩れ、ボンベのスピンドルバルブが破損し、塩素ガスが噴出約3km四方に漏洩。 職員17名、付近住民等 195名が塩素ガス中毒、家畜や農作物等に多大な被害を出した。
46年9月7日	水 災	絹 地区	・台風29号に襲われ、田川堤防30m決壊し、水田等冠水して農作物に被害。
47年9月14日	火 災	横倉新田	・フォークリフト製造工場組み立てラインの爆発火災により、5,000 ㎡破損、死者5名、負傷27名、計32名の死傷者が発生した。損害額5,645 万円。
48年3月9日	火 災	稲葉郷	・アセチレン充填工場のアセチレンが爆発、工場1棟 442㎡全壊、アセチレンガスボンベ52本爆発、負傷者3名、損害額 2,152万円。
53年9月10日	火 災	間々田	・呉服店舗より出火、1棟全焼 400㎡焼損、損害額 7,461 万円。
54年8月24日	火 災	横倉新田	・鉄鋼工場の鉄鋼溶融物が炉より溢れだし、作業員3名死亡、2名負傷、計5名。損害額 200万円。

発生年月日	災害種別	発生場所	災 害 概 要
昭和55年1月9日	火 災	若木町	・密集地住宅より出火、付近の4棟全焼、計 440㎡焼損、3名焼死。損害額 3,512万円。
56年5月8日	火 災	土塔	・金属工場より出火、1棟全焼 861㎡焼損、損害額 12,325万円。
56年5月27日	火 災	大本	・一般住宅より出火、2棟全焼、計 184㎡焼損、2名焼死。損害額 3,080万円。
56年9月18日	火 災	羽川	・飲食店兼住宅より出火、2棟全焼、計 453㎡焼損1名焼死。損害額 5,078万円。
57年3月25日	火 災	北飯田	・プラスチック成型工場、住宅等3棟全焼、計 734㎡焼損、損害額 7,152万円。
57年4月7日	火 災	網戸	・製菓製造工場1棟全焼 1,775㎡焼損、損害額 27,913万円。
60年5月1日	火 災	若木町	・貸衣装店舗より出火、2棟全焼、計 520㎡焼損、損害額 13,036 万円。
63年11月2日	火 災	神鳥谷	・飲食店兼住宅1棟全焼、119㎡焼損、3名焼死、1名負傷、計4名死傷した。損害額 674万円。
平成2年8月14日	火 災	花垣町	・眼科医院兼住宅、1棟 219㎡焼損、損害額 5,356万円。
3年9月30日	火 災	東黒田	・野積みの産業廃棄物(家屋解体の木材等) から出火して消火に困難を極める。鎮火11月26日。 (4,620㎡焼損、産廃 約35,000㎡)
5年1月15日	火 災	東野田	・建設会社作業所1棟全焼、1,040㎡焼損、損害額 6,549万円。
5年10月6日	火 災	東黒田	・製造工場1棟全焼、528㎡焼損、損害額 4,579万円。
8年7月15日	自然災害	絹地区東部	・破壊的な下降気流(ダウンバースト)の発生により、絹地区東部 113世帯の住宅、納屋が倒壊し農作物等に大きな被害を受けた。損害額 19,000万円
10年6月25日	火 災	野木町若林	・アルミ箔製造工場 1棟 975㎡焼損、損害額 29,901万円。
10年8月30日	自然災害	生井地区	・台風4号により、下生井地区等に避難勧告。 374人が市内小中学校に避難。
11年8月19日	火 災	東黒田	・野積みの産業廃棄物(家屋解体の木材等) 火災。 鎮火8月22日。(6,095㎡焼損、産廃約28,140㎡)
12年3月13日	火 災	中久喜	・飲食店1棟全焼、429㎡焼損、損害額 12,000万円。

発生年月日	災害種別	発生場所	災 害 概 要
平成12年8月5日	自然災害	小山市全域	・短時間的集中豪雨により、若木町3丁目、大字喜沢を中心に市内各地で、90世帯以上の床上・床下浸水被害が発生した。
12年9月24日	自然災害	小山市全域	・短時間的集中豪雨により、若木町3丁目、大字喜沢、羽川を中心に市内各地で、73世帯以上の床上・床下浸水被害が発生した。
13年1月27日	火 災	西城南	・店舗1棟全焼、639㎡焼損、損害額 11,300万円。
13年7月9日	危険物漏洩	土塔地内	・工場内の屋外タンク貯蔵所(容量150,000ℓ)から第4類第3石油類(A重油)約11,000ℓが西仁連川に流出。
14年7月9日	自然災害	小山市全域	・台風6号の接近に伴い小宅橋が流失、中里地域において逆川排水機場付近の3世帯に避難勧告を行い、市内各地域で床上浸水1世帯、床下浸水31世帯の被害が発生した。小宅橋、間中橋流失。
14年11月7日	火 災	福良	・一般住宅から出火、1棟全焼、219㎡、2名焼死。
15年2月15日	火 災	駅東通り	・パチンコ店から出火、1,727㎡のうち789㎡焼損、損害額22,900万円。
15年3月30日	火 災	喜沢	・パチンコ店から出火、310㎡のうち177㎡焼損、損害額33,400万円。
15年8月5日	自然災害	小山市全域	・短時間的集中豪雨により、駅東通り、若木町3丁目、大字羽川を中心に市内各地で、76世帯の床上・床下浸水被害が発生した。
17年1月2日	火 災	扶桑	・市営住宅から出火し、2名焼死。
17年5月18日	火 災	扶桑	・市営住宅から出火し、1名焼死。
18年3月25日	火 災	間々田	・一般住宅から出火、2棟全焼、1部分焼、1名焼死。
18年5月20日	自然災害	小山市全域	・短時間的集中豪雨により、駅東通り、城山町2丁目を中心に市内各地で、28世帯の床下浸水被害が発生した。
19年2月13日	火 災	羽川	・一般住宅から出火、1棟全焼、1棟半焼、3棟部分焼、2棟ぼや、1名焼死、1名負傷。
20年2月19日	火 災	神鳥谷	・一般住宅から出火、2棟全焼、56㎡、2名焼死。
21年10月13日	火 災	外城	・一般住宅から出火、1棟全焼、2棟ぼや、2名焼死。
21年12月4日	火 災	出井	・資機材倉庫から出火、1棟全焼、19㎡、3名焼死。

発生年月日	災害種別	発生場所	災 害 概 要
平成22年2月15日	火 災	中久喜	・工場内の危険物施設（一般取扱所）であるナトリウム硫黄電池設備から出火。鎮火2月17日。
23年3月11日	自然災害	小山市全域	・東北地方太平洋沖地震が発生、4名負傷、半壊1棟、一部損壊約2,100棟のほか、塀の倒壊等約1,100ヶ所の被害が発生した。
23年9月21日	自然災害	小山市全域	・台風15号により、大行寺地内において豊穂川が越水。市内各地で20世帯の床上・床下浸水被害が発生した。
26年2月14日 ～15日	自然災害	小山市全域	・大雪により市内各地で被害が発生した。 11名負傷、床下浸水1棟、倒木3、農作物損害額約33,282万円。
27年5月10日	火 災	東山田	・畜産小屋等、計7棟全焼、損害額5,559万円。
9月9日 ～10日	自然災害	小山市全域	・平成27年9月関東・東北豪雨が発生した。 台風17号と台風18号からかわった温帯低気圧の影響により線状降水帯が発生、豪雨災害が発生した。 主要河川は増水、市内各地で内水により、住宅1,525棟の床上・床下浸水被害が発生した。 10日0時20分に栃木県初の大雨特別警報が発令。 農畜産物被害額31,973万円。
28年6月28日	火 災	荒井	・製紙工場から出火、1棟半焼、1,354㎡、1名焼死、1名負傷。鎮火まで6時間。
28年8月22日	自然災害	横倉新田	・台風9号により、横倉新田地区を中心に住宅26棟の床下浸水被害が発生した。
29年2月4日	火 災	城北	・店舗兼住宅から出火、1棟全焼、232㎡、5名焼死。
29年10月22日 ～24日	自然災害	中里・押切	・台風21号により、中里・押切地内で杣井木川増水。同地域で4棟の床下浸水被害が発生した。
30年10月17日	火 災	西城南	・物品販売店舗から出火、1棟全焼、660㎡、損害額10,495万円。
令和元年10月12日 ～16日	自然災害	小山市全域	・令和元年東日本台風が発生した。 台風による大雨で、水害が発生し合計546棟の床上・床下浸水被害が発生した。 12日6時19分大雨（浸水害）警報発令。同日13時44分暴風・洪水警報発令。農畜産物被害額9,618万円。
5年 7月10日	自然災害	小山市南部 野木町全域	・破壊的な下降気流（ダウンバースト）の発生により、市内南部及び野木町全域で計342棟の住宅・納屋が損壊し、農作物等に大きな被害を受けた。農作物等被害額10,367万円。